



Overseas Fishery Cooperation Foundation of Japan

評価報告書

— 平成 30 (2018) 年度 研修生受入事業 —
(終了時評価—2019 年 4 月)

個別研修生受入 (ナマコ)

研修生受入の概要

研修コース名	個別研修生受入
参加国及び参加人数	1 か国 1 名 (ソロモン諸島)
研修コース実施の経緯と背景	<p>ソロモン諸島 (以下、「ソロモン」という。) は、近年の人口増加、経済活動の増大による環境への影響及び過剰な漁獲圧により有用水産資源が減少傾向にあるという課題を抱えている。また、水産資源の持続的利用の意識が国際的に高まるなか、水産資源の管理・利用を担う人材の育成は喫緊の課題になっている。</p> <p>本研修は、関係沿岸国の水産資源の管理・利用、延いては、沿岸漁業振興を担う人材を対象とし、短期間でそれぞれの課題に特化した技術力等の向上を図るために設定したコースである。</p>
研修期間及び研修場所	<p>2018 年 10 月 6 日～10 月 28 日 (23 日間)</p> <p>一般研修：10 月 9 日 (1 日間) (研修場所：海外漁業協力財団)</p> <p>技術研修：10 月 10 日～10 月 25 日 (16 日間) (研修場所：佐賀県玄海水産振興センター、玄海栽培漁業協会等)</p>
上位目標	関係途上国における水産業の振興が図られる。
研修目標	相手国政府等が推進する水産資源管理・利用を担う良質な技術者等が育成される。
成果	ナマコ増養殖技術及び増養殖施設の管理技術が向上する。
活動	<p>技術研修</p> <p>実習：再生産生態がナマコと類似するアカウニの採卵事前準備、採卵、媒精、浮遊幼生飼育、餌料培養</p> <p>座学：ナマコ類の増養殖、ナマコ類の資源管理、増養殖施設の管理・運営</p> <p>見学：国立研究開発法人水産研究・教育機構西海区水産研究所 (長崎庁舎) 他</p>
投入	<p>財団側</p> <p>1) 一般研修</p> <p>人的投入 (専門家)：1 名</p> <p>物的投入 (研修資材等)：研修備品等</p>

	2)技術研修 人的投入（指導員・専門家等）：常時1名以上 物的投入（研修資材等）：ナマコ・アカウニ増養殖関連資材等 3)事業費 2百万 受入対象国側 投入なし
--	---

評 価 事 項

◆ 妥 当 性

1. 研修実施計画は相手国のニーズに合致していたか

途上国等は、自国水産業の振興・開発と適切な漁業管理制度の構築を重要な政策として位置付け、そのための人材育成のニーズが大きい。特に将来、管理者となる技術者を対象とした研修を強く希望している。

ソロモン政府漁業海洋資源省（以下「MFMR」という。）は、2016年に改訂した「MFMR事業計画2015～2018」の中で、「民間セクターの発展と投資」を重点分野の一つとし、「沿岸漁業資源の活用による経済・社会的利益の増大」を目標に掲げている。

本研修は、当該政策推進のために実施しているナマコ資源パイロットプロジェクト（以下、「プロジェクト」という。）のソロモン側担当者のキャパシティビルディングを図るものであり、相手国のニーズに合致していた。

2. 研修実施計画の妥当性（一般研修・技術研修）

研修実施計画は、プロジェクトにおける研修生の担当業務（ナマコ増養殖技術及び増養殖施設の管理等）に係る技術力の向上を図るために必要な実習を実施可能なスタッフ・設備を有する機関において、プロジェクトに影響のない期間に策定・実施されており、妥当であった。

3. 研修実施計画は、一般研修期間及び技術研修期間中の研修生活の実態を考慮して作成されたか

指導員、専門家等を適切に配置する等、日常生活を考慮して実施計画が作成された。

4. その他

特になし。

◆ 効 率 性

1. 講師、研修施設、研修資機材等は計画通りに投入され、期待される成果を上げたか

各水産関係施設等において、ナマコ類の増養殖等に経験豊富な指導員・専門家が、増養殖関係実習及び講習等を担当した。

これら指導員・専門家の配置に加え、研修教材及び資材並びに使用される施設等は計画通りに投入され、期待される成果を上げた。

2. 研修内容、水準、技術指導方法は適切に実施されていたか

実習、座学、見学の研修日数、内容、水準及び指導方法は、プロジェクト関係者と受け入れ機関の調整を経て、適切に計画され、実施された。

3. その他（研修の効率性に影響を与えたと考えられる貢献・阻害要因等）

特になし。

◆ 有効性

1. 研修目標の達成度

研修目標：相手国政府等が推進する漁業振興・管理を担う良質な技術者等が育成される

研修生はプロジェクトのカウンターパートであり、一定程度の専門知識を有しているが、本研修によりレベルアップが図られ、現場の技術者としての資質と技術力がさらに高まったことから研修目標は達成された。

2. その他（研修生の研修意欲・研修満足度等及び職場における社会・文化、制度上の環境等外部要因が、研修目標の達成に与えた影響等）

特になし。

◆ インパクト

1. 上位目標の達成に対する研修目標の達成の効果は、どの程度見込まれるか

本研修によりソロモンが推進する「沿岸漁業資源の活用による経済・社会的利益の増大」を担う人材が育成されたことにより、プロジェクトの効果的な実施が図られ、更に、将来指導的立場に立つことにより、今後のソロモンの水産業の振興という上位目標の達成に一定の効果が見込まれる。

2. 研修事業は、政策形成、社会・経済等でどのような直接的・間接的な効果又は負の影響が見込まれるか

プロジェクト関係者の運営管理能力及び専門技術が向上し、プロジェクトの効率的な実施が図られるとともに、プロジェクトから周辺に技術が伝播することにより、当該国の水産業のレベルアップに一定の効果が見込まれる。

3. その他（計画当初予見できなかった効果又は負の影響が見込まれるか等）
特になし。

◆ 持続性

1. 研修生は帰国後、研修の成果を有効に活用している（できる見込み）か
研修生の技術力の向上は、相手国が政策を実施する上で貴重なものである。研修生は、水産資源管理・利用の実施担当者として習得した知識・技能の普及や一層の業務の効率化、高度化を目指すことが期待され、成果は有効に活用される。
2. その他（相手国及び研修生の自立発展に影響を与えたと考えられる貢献・阻害要因等）
特になし。

以上